

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団　こどものデイサービスなないろ(多機能型：児童発達支援・放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2025年　1月　27日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　2025年　2月　7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年　1月　20日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　2025年　1月　31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　2月　13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスと生活介護、日中一時支援を併用できる多機能型サービスを提供	幼児期から児童期、成人期へと人生のトータルサポートを行っている。こども目線でも保護者目線でも見える化を実施しております。また日中一時支援を併用することで保護者の就労を支えております。	引き続き、支援者の体勢を整え保護者就労を支えていけるよう努めます
2	・基準人員以上の人員の配置 ・医療的ケア児や重症心身障害児の受入の実施	・支援者の8割が保育・教育・医療の経験5年以上であり、専門的支援体制の構築、実施しています。支援者の誰が休んでも同じ支援の質が担保出来るよう法令で定められた人員以上を常勤採用をしています。 ・医療的ケア児や重症心身障害児に係る各種研修を看護職員以外も参加しています。医療的ケア児受入マニュアルの整備、病院・主治医との連携を行っております。	引き続き、支援者の体勢を整え関係機関との連携強化に努めます
3	こども一人ひとりの「らしさ」や「できた」「出来る」を育み、経験を詰めるような支援プログラム、活動を提供	・年間で活動計画の擁立を行い、各月に反映させて固定化されないように取り組んでいます。ガイドラインの5領域と保育の5領域を合わせて活動計画を策定しています。机の配置や座る位置、課題の内容や使用する教材については一人ひとりの発達段階や特性に合わせた支援としております。 ・学校のお休みの営業日には社会資源等の活用を行い、公共交通や社会マナー、金銭管理、買い物体験を実施し社会性の向上や社会参加の場面設定をしております。	引き続き、こども自身が「出来た」「出来るんだ」と自信を持って取り組める環境設定に努めます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流する機会	学童への打診はしておりますが、学童側の人員体制的に交流が難しいとの回答をされています。そのため、施設一般開放を行い（ななちゃれや0円バザー&思い出おゆずり会等）地域の子どもたちが気軽に参加出来るような取り組みを実施し交流を行っております。	感染防止対策を実施しながら、双方とも安全に交流できるようお声がけは続けていきます
2	各種マニュアルの周知について	法令で定められているマニュアルの他に、必要なマニュアルに関して策定済みであり、誰でも閲覧できるよう事務室の他玄関にも設置しておりますが、周知の不足があったかと思えます。	事業所内相談や面談、イベント時に気軽に閲覧できるよう積極的にお声がけをしています
3	学校の個別の教育支援計画と障害福祉サービスの個別支援計画のすり合わせについて	ご利用される方の各学校宛には書面にて連携のお願いの文書を送付しておりますが、県立の学校においては個人情報の観点から見合わせをされております。地域の学校では教育支援計画と個別支援計画のすり合わせが出来ております。	こども家庭庁、文科省、厚労省の通知を同封し、福祉分野における教育との連携推進をより一層充実できるようお声がけをしています